

愛知県の木材を利用して地域の活性化を



名古屋大学大学院 生命農学研究所教授 佐々木康寿氏 阿部建設代表取締役社長 阿部一雄氏 CBCラジオパーソナリティー 平野裕加里氏 愛知県森林組合連合会代表理事専務 木材利用ポイント愛知県協議会会長 石田敬一氏 林野庁国営林野部長 沖修司氏

4月27日、ミッドランドホール(名古屋市中村区)で「木で、未来をつくろう! in 愛知県」と題したシンポジウムが開催。木材を活用することで森林づくりや地域の活性化を目指す「木材利用ポイント事業」の一環として全国の都道府県で開催されているもので、当日は、林野庁国営林野部長・沖修司部長と愛知県森林組合連合会・石田敬一代表理事専務による講演や「木材利用ポイント事業」の紹介が行われたほか、各界の代表者を迎えてパネルディスカッションが行われました。

～愛知県の地域材の利用促進のために～ 成長した木を切って使うことが 未来の森づくりや地域の活性化につながる

木材利用ポイント事業

木材の需要を拡大し、森林資源の有効な活用による豊かな森林づくりや地域の活性化をもたらすため、スギ、ヒノキ、カラマツなどの対象となる木材を使用した木造住宅の新築・増築または購入・内装・外装木質化工事、木材製品や木質ペレットストーブなどの購入に対し、消費者にポイントを付与する事業。ポイント付与対象となるのは今年9月30日までに工事着手または製品購入されたもの(条件により異なる)。

詳しくは <http://mokusai-points.jp/>

地域材の利活用の促進に向けて ～森に続く道、木づかいのお話～

林野庁国営林野部長 沖修司氏

古代から森は、木の実や燃料、建物の材料など人間に多くの恵みを与えるとともに、森や木は折や文化的象徴でもありました。日本では昔から木造の建物が作られてきました。石造りの建物のイメージの強いヨーロッパでも木を使った大型の建築物が作られています。

近年は化石資源から再生可能な木材資源への関心が高まり、市役所や小学校など公共建築物に木が使われることも多くなりました。日本でも燃えにくい集成材を活用した大型の商業施設や下層階がRC建築で上層階が木造というハイブリッド構造の建物など、大規模な木造建築物が建てられるようになってきました。

日本では、伊勢神宮の20年ごとの式年遷宮で解体した木材を各地の神社で使用したり、築城に他の城で使われた木材を使うなど木を再利用してきた歴史があります。2020年には東京でオリンピックが行われます。過去のオリンピックでも施設の内装や天井、外壁などに木材が利用されていますが、木材を有効活用する「Mottainai」は日本の心でもあり、ぜひ東京オリンピックでも木造建築で日本の心を伝えてほしいと思っています。

愛知県の地域材の利用促進のために、成長した木を切って使うことが未来の森づくりや地域の活性化につながる。石田敬一氏(愛知県森林組合連合会代表理事専務)の講演から、木材の活用と森林の持続可能性についてお話を伺った。

石田 日本は資源のない国だといわれていますが、木は植えて、育てて、切つて、また

国産材が高いというの 間違ったイメージ

阿部 国産材が高いというの、間違ったイメージ。母の影を強く受けるので、木の良さをどんどん子どもたちに伝えてほしいです。

阿部 国産材が高いというの、間違ったイメージ。母の影を強く受けるので、木の良さをどんどん子どもたちに伝えてほしいです。

阿部 国産材が高いというの、間違ったイメージ。母の影を強く受けるので、木の良さをどんどん子どもたちに伝えてほしいです。

愛知県における地域材の利活用の現状

愛知県森林組合連合会代表理事専務 石田敬一氏

愛知県の森林は県の面積の約4割を占め、そのうち人工林の割合が63.6%で全国平均の45.9%を上回っています。また、植林してから46年以上の森林が8割、全森林面積のうち95%が民有林です。木材生産量は、1985年度のピークから2005年度には7万8千m³に落ち込みましたが、2011年度に11万m³まで回復。現在の柱材1本の価格はスギが2100円、成長し時間がかかるヒノキが2800円となっています。これに対して、一般住宅によく使用される外国産のホワイトウッド集成材は2200円、スギより高くヒノキと比べても大きな差はありません。つまり、「国産の木の家は高い」というイメージは正確ではないことがわかります。

そこで私たち森林組合連合会では、地域材で合板を作り、愛知県の木材の利用促進に努めています。そして、地域材の利用を増やすことで、間伐による県内の森林づくりの促進や製材などの木材製造業の活性化を目指しています。また、木材利用ポイント愛知県協議会としても、割り箸や鉛筆を地域材で製作するなど、さまざまな利用促進活動を続けています。

地域材の木は貴重な宝物

将来に繋いでいくことが大切

阿部 国産材が高いというの、間違ったイメージ。母の影を強く受けるので、木の良さをどんどん子どもたちに伝えてほしいです。

阿部 国産材が高いというの、間違ったイメージ。母の影を強く受けるので、木の良さをどんどん子どもたちに伝えてほしいです。

愛知県には資源として使える木がたくさんある

循環資源であり、木を使うことで森林づくりが促進される。阿部建設代表取締役社長 阿部一雄氏

阿部 日本では戦後の復興のために多く木が伐採され、住宅建設などに充てられました。現在は植林により育った木材を資源として使えるようになり、有効に活用されています。本日は「木で、未来をつくろう!」というテーマで、木材の活用方法などについて意見を交わしたいと思います。みなさんの木との関わりについてお聞かせください。

佐々木 私は木材の科学的な耐久性を専門に研究しています。そのほか木材の利用を通じて都市環境デザインなど木質化による森林と都市の再生といったことも取り組んでいます。阿部 私は名古屋で工務店を営んでおり、とくにこの地域の木材を使った家づくりに力を入れています。本日は木材を利用する川下立場から意見を述べていただきます。

阿部 私は、普段はラジオなどで話す仕事をしていて、木の関わりというところは、学生時代にバリエーションで4か月のボランティアを経験し、自然の中で生きていくための知恵を木や植物から学ぶとともに、人間は自然に育てられていることを実感しました。

阿部 では、先ほど講演いただいた石田さんと阿部さんと交わす、愛知県の地域材の課題などについてお話を伺いたいと思います。

石田 日本は資源のない国だといわれていますが、木は植えて、育てて、切つて、また

地域材の木は貴重な宝物

将来に繋いでいくことが大切

阿部 国産材が高いというの、間違ったイメージ。母の影を強く受けるので、木の良さをどんどん子どもたちに伝えてほしいです。

阿部 国産材が高いというの、間違ったイメージ。母の影を強く受けるので、木の良さをどんどん子どもたちに伝えてほしいです。

木のある暮らしに最大60万円分、プレゼント。

木材利用ポイント 好評につき 期間延長決定!

木造新築 30万円分 + 内装・外装木質化 30万円分(最大) = 60万円分(最大)

木製家具 10万円分(最大)

その木、ポイント実施中

スギ、ヒノキ、カラマツなどの対象となる木材を使って家を建てたり、リフォームしたりするとポイントがもらえる「木材利用ポイント事業」実施中。

木材製品でもポイントもらえます! 最大10万円分プレゼント。

「木材利用ポイント」ホームページから、「かたんガイド」をご参照ください。

木材の適切な利用は、森林の保全、地球温暖化の防止に貢献し、地域の振興にもつながります。スギ、ヒノキなどの対象となる木材を基準以上利用するなどの条件を満たし、平成25年4月1日から平成26年9月30日までに工事着手した木造住宅(30万円ポイント)、被災地での新築は50万円ポイント、内装・外装付与対象 木質化(最大30万円ポイント)など、1ポイント1円相当で、地域の農林水産品などと交換できます。

※日本木材協会より「全国17都府県と愛知県、特定復興促進地域を指定しました。この事業は木材利用ポイントの取得が容易な地域に限定し、申請期間が短縮されるなど、木材利用ポイントの発行を促します。条件によっては期間が異なる場合があります。

ご質問や、申請書の送付は、木材利用ポイント事務局 <http://mokusai-points.jp> 事務局(木・土・日)0570-666-799 ナビダイヤル(有償) PHS、IP電話からのお問い合わせ(有償) 03-6701-3270 ※受付時間 9:00~17:00(土・日・祭日含む)